



観音寺市議会だより
KAN-ONJI CITY COUNCIL No.18 2018.8.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします



表紙提供：観音寺市観光協会

6月定例会のあらまし	 2
一般質問	 4
各常任委員会視察報告	 9



検索

観音寺市議会

総務委員会報告

6月21日開催

一般会計補正予算(第1号)と市民部1議案、総務部4議案を審査

- 議案第55号 専決処分の承認について
(観音寺市税条例の一部を改正する条例)
- 議案第56号 専決処分の承認について
(観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例)
- 議案第57号 専決処分の承認について
(観音寺市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

以上3議案は、税条例の一部改正における専決処分の承認を求めるもの

議案第55号、議案第56号は全会一致で承認すべきものと決定した。また、議案第57号は賛成多数で承認すべきものと決定した。

- 議案第59号 観音寺市税条例の一部改正について
地方税法の一部改正に伴い、固定資産税の課税標準の特例措置に関する規定を整備するもの
- 議案第60号 観音寺市環境基本条例の一部改正について
観音寺市環境審議会の委員構成などを改めるもの

- 議案第64号 平成30年度観音寺市一般会計補正予算(第1号)

一般会計補正予算(第1号)の概要

3,358万3千円増(補正後271億2,358万3千円)

主な歳入

寄附金	100万円
繰入金	2,000万円
諸収入	1,215万円

主な歳出

地域コミュニティ助成事業	750万円
一の宮公園維持管理費の施設整備	220万円
アニメコンテンツ活用地域活性化事業	638万円
小学校教材等整備事業	100万円
豊浜総合体育館施設管理整備基金	465万円
予備費	944万円

以上3議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

定例会が6月7日から27日までの21日間の会期で開かれた。提出された議案のうち、公平委員会委員の選任についての人事案件を初日に同意した。

一般質問は、2日間にわたり、12人が個人質問として市政についてたずねた。

議案については、専決処分の承認関係3件、条例関係3件、一般会計補正予算、その他2件を各常任委員会に付託し、審査した。

最終日には、各常任委員会付託議案を原案のとおり承認、同意および可決した。また、追加議案2件が提出され、いずれも原案のとおり可決した。

建設経済委員会報告

6月20日開催

一般会計補正予算(第1号)関係部分と経済部1議案、建設部1議案を審査

●議案第62号 指定管理者の指定について

観音寺市総合コミュニティセンター別館の指定管理者の指定について、議会の議決を求めるもの

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

●議案第63号 観音寺市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結について

観音寺市公共下水道観音寺第1ポンプ場建設工事の委託に関する協定について、議会の議決を求めるもの

全会一致で同意すべきものと決定した。

6月27日開催

●議案第66号 平成30年度観音寺市一般会計補正予算(第2号)

南部ポンプ場エンジン故障に伴い、2,800万円を増額するもの

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。



文教民生委員会報告

6月19日開催

一般会計補正予算(第1号)関係部分と教育部1議案を審査

●議案第58号 観音寺市附属機関設置条例の一部改正について

観音寺市民会館開館準備実行委員会を廃止するもの

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

6月27日開催

●議案第65号 観音寺市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、国民健康保険の住所地特例の適用を受けている被保険者が、後期高齢者医療保険に加入する場合に引き続き住所地特例を適用することについて関係規定を整備するもの

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。





大平直昭

ほっとはうす萩の利用
状況は

答 井 利用者は約1年で2万6,000人余り

【質問】 オープンして1年が経過したほっとはうす萩の利用状況を伺う。

【答 井】 平成30年5月31日現在、延べ10、746組、26、612人の児童・保護者の方が利用。地域別の利用者数は、市内21、191人、市外5、421人。市内の利用者の内訳は、観音寺地区16、190人、大野原地区3、613人、豊浜地区1、388人であった。

すぽっしゅTOYOHAMAの利用状況は

答 井 総会員数は2、400人余り

【質問】 すぽっしゅTOYOHAMAの現在の指定管理者との協定内容と最近の利用状況、成果配分の推移を伺う。

【答 井】 平成28年度から市の指定管理料の支払いはない。

平成30年3月末現在、総会員数は2、449人で増加傾向。内訳は、市内会員が2、143人で、地域別内訳は、観音寺地区が1、081人、大野原地区が422人、豊浜地区が640人となっており、市外会員は306人である。成果配分（市の収入）は、平成28年度が約511万円、平成29年度が約338万円、平成30年度が約465万円となっている。



大久保隆敏

北の大地でお見合い＆
物産展！

答 井 現在の婚活支援を継続する

【質問】 本市においても商工会や商工会議所が主体となった実行委員会が開催する婚活イベントなどに対して支援を行っているが、なかなか成果が上がっていないように思う。私は、原因の一つに出会いの時間が短い事があると思う。そこで、姉妹都市の北海道真狩村への2泊3日のお見合いツアーを提案する。参加者に本市の特産品を販売する物産展に参加していただき、販売はもちろん TENT 張りをはじめ、会場設営を行っていただく。そうすることによって、お互いに気心が知れ、大いに盛り上がると思う。いかがか。

【答 井】 ご提案の内容は、多額の費用が想定され、それを市税で補うのはいかななものかと思う。商工会や商工会議所の関係者には、一生懸命、結婚を促進していただいているので、当分の間は、それを支援していくことが一番効果的であると判断する。



井上浩司

子育て世代包括支援センターの整備について伺う

答 井 早期の設置に向け準備を進める

【質問】 現在、妊産婦・乳幼児などの支援には、医療機関（産科、小児科、歯科など）や子ども園・幼稚園・保育所、地域子育て支援拠点事業所、保健センター、保健所などの多くの機関がかかわっている。

そのため、利用者自らが必要とする支援を選択することは難しい。そこで、子育て世代包括支援センターが利用者に助言したり、関係機関と連絡調整したりすることにより、妊産婦・乳幼児などが、切れ目なく必要な支援が受けられるようになると思うが。

【答 井】 さまざまな機関が個々に行っている妊娠期から出産、子育て期にわたるまでの相談支援をワンストップ化し、切れ目のない支援を実施することで、親の不安を軽減させ、親子が安心して暮らせる環境をつくる必要があると考えており、子育て世代包括支援センターの重要性を強く認識している。

国は、おおむね2020年度末までに全国展開を目指すとしているが、現在、高松市をはじめ県内の4市3町においてすでに設置されており、本市としても早期の設置に向け、関係機関と準備を進めている。





白川 雅仁

放課後児童クラブにおける 育成支援の向上を

答 弁 必要な研修を取り入れ、 質の向上に努める

〔質問〕 児童の受け入れ状況、支援員・補助員の配置状況について伺う。

〔答 弁〕 5月1日現在、392名の児童を受け入れている。支援員は37名、補助員は21名で計58名。各教室とも指針基準に沿って適正に配置しており、各教室の状況に応じて増員し、児童の健全な育成を図っている。

〔質問〕 教室の運営を行う支援員などは対応に苦勞するさまざまな問題に直面すると思うが、助言や力量アップに繋がる取り組みについて伺う。

〔答 弁〕 支援員などは、児童との接し方、生活環境、安全面など、児童の発達に応じた対応が必要となる。本年度から放課後児童クラブ指導員を子育て支援課に配置し、各教室を定期的に訪問。問題や課題対応について助言、指導を行っている。

〔質問〕 育成支援の向上に必要な研修、教育について伺う。

〔答 弁〕 全支援員・補助員対象にテーマを決めた研修会、意見交換会を行い、スキルアップを図っている。また、県が定期開催する研修会に参加するとともに、県の認定資格研修への参加を促しており、現在、認定資格研修を修了した支援員26名を配置している。また、本年度は人権課の協力により人権研修も行う。



石山 秀和

高齢者の移動手段を問う

答 弁 免許証自主返納者にとり あいバス回数券1枚綴りを を交付

〔質問〕 免許証自主返納者数の推移、自主返納後の特典について伺う。また、のりあいバス路線以外に居住の高齢者へのタクシー回数券の発行について提案する。

〔答 弁〕 65歳以上の免許証自主返納者数は、平成27年から本年6月までで707人。のりあいバス回数乗車券1万円相当額を189人に交付。同時に、時刻表、バスマップも配布している。

太陽光発電の現状を問う

答 弁 定置用リチウム蓄電池システム 込みの補助については検討する

〔質問〕 設置補助事業開始からの設置件数および発電総数、蓄電池込みの設備に対する補助の上乗せ、設置申請時と稼働時期の時間差を利用した不正などに対する対策について伺う。

〔答 弁〕 住宅用10キロワット未満の設置件数は1,738件、公共・産業用10キロワット以上は719件で、総発電量は57、120キロワット。光害の苦情は現状なし。事業用で騒音の苦情が一件あり。蓄電池込みの補助については、高松市と三豊市が実施しており、今後、他市の動向を見極め検討する。現場確認など審査後、申請受付を実施しているの
で不正受給の対策は取られている。



篠原 重寿

今、災害に備えられる こと

答 弁 速やかな情報伝達と、地 域関係者との連携

〔質問〕 東日本大震災から7年、改めて南海トラフ地震への備えを問う。①防災士の育成支援事業の概要と資格取得状況。②気象庁は、南海トラフ地震の情報発表基準を大きく変えた。その内容と対応を問う。③災害備蓄は、市内に分散して倉庫を設置し、保管するような方針となっているが、設置状況とその後の管理体制を問う。

〔答 弁〕 ①平成24年から資格取得費用の助成を実施。現在23名が資格を取得している。②気象庁では、南海トラフ沿いで地震活動など異常な変化が観測され、平常時に比べて相対的に大規模地震発生の可能性が高まったと評価された場合は（臨時情報）を発表することに變更された。本市もこの情報に基づき速やかに住民への情報伝達を行う。③市内19か所に備蓄食料を保管している。管理は、地域住民など関係者や自主防災組織などと事前に協議して、鍵の管理についても対応していく。





友枝 俊陽

災害時における地域貢献型自動販売機の設置状況は

答 弁 公共施設23台、うち避難所には13台設置している

【質問】 ①被災者に対し無料で飲料水を提供する自動販売機の設置が東日本大震災以降、普及が進んでいる。本市も災害発生に備える必要があるが避難所などへの設置状況は。②教育施設周辺への設置検討と今後の普及については。

【答 弁】 ①本庁舎や各支所、公民館、市営住宅などに設置。このうち、避難所に13台設置している。水防本部または災害対策本部の要請により、機内在庫の製品を無償で避難者などに提供する。②多くの避難所に設置できるよう施設管理者や設置業者と検討していく。

保育まつりの平日開催を見直しては

答 弁 主催する保育ブロック会に検討のお願いをしたい

【質問】 児童福祉週間に合わせ開催されているが、これまで平日開催で、参加された保護者や地元企業関係者からは週末開催を望む声が数年来あるが、見直しを検討しないのか。

【答 弁】 平日に開催することで、兄弟姉妹がもらえる世帯は小学校も授業があり、0歳から3歳の保育もあることで参加する児童だけに接することができるといったメリットもある。主催している観音寺市保育ブロック会に開催日などの検討をお願いしたいと考



豊浦 孝幸

観音寺市観光基本計画の現状は

答 弁 9月中の策定を目標

【質問】 新しい観光とは、観光関係者だけではなく、交流人口、関係人口から恩恵を受けるべく、教育・福祉などあらゆる分野の人が活躍できるまちづくり型の要素が不可欠である。その指針となる基本計画策定は進んでいるのかを伺う。

【答 弁】 観音寺市観光基本計画は、本市の観光の現状を把握し、地域資源の活用と観光客にとって魅力的な地域づくりの2点を進めることで、経済の活性化と心豊かなまちをつくるための方向性を示すため、平成29年度中の策定に向けて取り組んでいたところである。策定委員会と並行して、市内の若い人を中心に組織された作業部会で議論を重ねてきた。

その後、その計画（案）について、より市民が親しみやすい計画にするための作業や、第2次観音寺市総合振興計画との整合性をとることで、時間的な猶予が無くなくなり、平成30年度に予算を繰り越した。



伊丹 準二

入札状況について

答 弁 下請事業者は地元を優先して選定するよう努める

【質問】 合併以来13年が経過したが、地元経済の活性化の基本である公共工事の地元下請け率はどの程度か。

【答 弁】 中部中学校校舎等改築事業校舎棟

観音寺小学校建設事業校舎棟 建築主体工事 11・5%

観音寺幼稚園・保育所建設事業 建築主体工事 22・6%

観音寺市新庁舎建設工事（建築主体） 建築主体工事 22・2%

観音寺新市民会館建設工事 建築主体工事 18・5%

下請事業者については、市内で本店を有する者のうちから優先的に下請負人を選定して契約するよう努めなくてはならないと規定している。

本市振興策について

答 弁 全職員が問題意識を持って取り組む

【質問】 人口6万人の本市が2040年には45,000人になるとの将来予測の中で、何を残し、何を削るのかを真剣に考え、将来の観音寺像を示すべきではないか。

【答 弁】 本年3月「第2次観音寺市総合振興計画」を策定。人口減少の抑制と人口減少社会に対応したまちの構築にあわせて取り組む。





合田 隆胤

豊浜小学校前の安全対策は

答 弁

ガードパイプなどで安全確保を図る

〔質問〕 1975年4月の開校から44年間、豊浜小学校前南側の通学路にガードレールが設置されていない。国道11号線からの道路拡張工事などにより大型車両の通行が増える中、路側帯も低く非常に危険であると幼稚園・小学校のPTAをはじめ、周囲の自治会からも心配する声が多く上がっている。今後の安全対策について伺う。

〔答 弁〕 豊浜小学校前の市道は、社会資本整備事業により改築工事を進めているが、指摘の区間はこの事業には含まれていない。しかし、車道と歩道の段差が小さく、車両が乗り越えやすい形状になっており、さらに国道11号側の改築により交通量の増加も予想されることから、

本年度より歩車道の境界にガードパイプなどを設置し、歩行者の安全確保を図りたいと考えている。

なお、本年度は特に危険な部分を優先して設置し、次年度以降も対応する。



藤田 均

学校給食は地産地消の自校方式で

答 弁

現時点では、新給食センター建設を軸に整備する方針

〔質問〕 豊浜小学校と幼稚園の改築では、給食は給食センターから搬入ができる施設とする方針である。給食は豊かな地元農産物を活用し、全市で自校方式を行うべきではないか。年間食料費・地産地消比率を伺う。また、センター方式の請負業務上の問題点をどう考えるか。

〔答 弁〕 学校給食の第一義の目的は、児童生徒の健康の増進および食育の推進を図るため、安定的に安全で安心な給食を提供すること。

できるだけ市内産の食材の活用にも努める。食料費は年間約2億4,000万円。食品総数を基準とした平成29年度の地産地消率は、市内産13・8%（県内産40・5%、その他59・5%）。労働者派遣法に抵触する実態はない。



観音寺駅トイレの洋式化を！

答 弁

JRの予算で今年度中に洋式化する

〔質問〕 県内の主要な駅で洋式トイレのない駅はあるか。

〔答 弁〕 洋式トイレがないのは本駅のみ。JR四国で予算化し、今年度一部を洋式トイレに改修する。



五味 伸亮

天空の鳥居と三豊市との連携を提案

答 弁

看板の設置など、協議および研究していきたい

〔質問〕 稻積山展望台【天空の鳥居】は四国88景に選ばれ、市内外や国外からも多くの方が訪れているが、経路が分かりづらく、写真を活かした看板の設置を提案する。また眺望は、三豊市の観光資源ともいえる。仁尾町の父母ヶ浜、詫間町、高室地区、有明浜、寛永通宝、琴弾公園、キャンプ場、ファミリープール跡地の活用など、自然に則した魅力を繋げることでインバウンドを含め、観光資源になると考える。三豊市との連携を提案するが、考えを伺う。

〔答 弁〕 写真を活かした看板が有効なツールであると認識している。

要望が多くあれば設置に向けて検討していきたい。観音寺市・三豊市を区域とした西讃ウィンググループにおいて、滞在プログラムの検討や地域資源の掘り起しなどを実施しており、このような枠組みを活用しながら、広域連携を図るため、協議および研究をしていきたい。



鳥居からの雲海



掲載できなかった一般質問

氏 名	質 問 件 名
大平 直昭	●自治基本条例について
井上 浩司	●介護保険について
白川 雅仁	●ブランド魚種開発・強化事業について
石山 秀和	●観音寺ブランド認証品の情報発信について ●待機児童解消にむけた取組について ●市内の街灯の現状について
篠原 重寿	●障がい者施策について ●定住促進について
豊浦 孝幸	●観音寺ブランドについて ●ふるさと納税について

氏 名	質 問 件 名
合田 隆胤	●ごみの戸別収集について ●一の宮公園等の遊具について
藤田 均	●5歳児健診の導入について ●粟井保育所の耐震改修について ●のりあいバスの停留所の雨風対策について
五味 伸亮	●高屋地区砂防ダム計画について ●消防団員の定年制度について ●特別の理由による任意予防接種費用の助成について

議会だより ミライエの写真 募 集

テ ー マ 観音寺市（四季折々の風景や行事など）

応募資格 市内に在住および勤務の方

応募方法 郵送またはEメールで、写真か写真データ（1人1点）と、住所・氏名・電話番号・作品のタイトル・返却希望の有無を明記の上、議会事務局までお送りください。

締 切 平成30年9月28日（金）
議会だより発行は11月になります。

選考方法 ・人物が特定できる場合または個人の所有物である場合は、必ずご本人の承諾を得てください。
肖像権や著作権に関して、当市議会は一切の責任を負いかねます。
・採用された作品の使用権は、観音寺市議会広聴広報委員会に帰属します。また、使用に当たり加工させていただく場合がありますので、ご了承ください。

応 募 先 〒768-8601 観音寺市坂本町一丁目1番1号 観音寺市議会事務局 宛
電話（0875）23-3913 Ex-ℓ gikai@city.kanonji.lg.jp
詳しくは、ホームページをご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしています。



行政視察の報告

総務委員会視察報告

日程 5月16日～5月18日

場所・事項

熊本県荒尾市

●子ども未来基金事業について

原資1,000万円で「荒尾子ども未来基金」を設置。個人・事業者・団体からの寄附を積み立て、寄附と同額を市から基金に上乗せし、市が実施する子育て支援、教育環境の充実、子どもの育成に関する事業などの事業費の全額または一部の原資として活用。

長崎県島原市

●シェアリングエコノミーシティ宣言事業について

個人などが保有する活用可能な資産などをインターネット上のマッチングプラットフォームを介して、他の個人などが利用できるようにする。島原城など観光施設の閉館時間後の貸し出し、花火大会会場近隣の個人の土地を駐車場として貸し出し、自然体験、農業体験など体験型コンテンツの提供など。

▲雲仙市

長崎県雲仙市

●定住促進奨励補助金事業について

定住人口の増加のため「新築住宅取得補助金」「中古住宅購入補助金」制度を開始。5年以上定住の誓約、住宅取得時点満55歳以下、自治会加入など条件はあるが、申請者は毎年増加傾向。

長崎県長崎市

●地域コミュニティ事業について

支所、行政センターの見直しで、「地域センター」19か所、「総合事務所」4か所を再編成。自治会、地域のさまざまな団体で「地域コミュニティ連絡協議会(仮称)」を立ち上げ、まちづくり計画を策定し、対象となる活動には交付金を交付。



建設経済委員会視察報告

日程 5月21日～5月23日

場所・事項

神奈川県鎌倉市

●クラウドファンディングによる観光施設整備事業について

寄附者の約半数が市民であり、またリピーター層もいることなどから、「お金」以上の価値(市の抱える観光の問題点と改善施策への共感)が得られた。ガバメントクラウドファンディングに変更したことにより、より多くの方にプロジェクトを知ってもらうことが可能になった。

千葉県佐倉市

●企業支援・企業誘致について

地の利を活かした企業誘致が功を奏している。助成金の交付実績は、制度創設以来(平成16年度～平成28年度)14社で、助成金交付総額は約14億円。また、その14社の税収は(固定資産税+都市計画税+法人市民税)約39億円。約25億円が企業誘致の効果額であると思われる。

千葉県千葉市

●企業・創業支援、商店街・中心市街地の活性化について

市・商工会議所・大学とで設立した公益財団法人千葉市産業振興財団が創業のワンストップ化に貢献している。市単独では限界があり、産学との連携が必要である。

東京都墨田区

●外国人観光客の受入促進について

観光を通じ町の賑わい・知名度をアップし、雇用の増加や、区内経済の活性化を図るため、平成16年に墨田区観光振興プランを策定。「ものづくりのまち」としての墨田区では、応対相手が地元民だけでよかったため、外国や国内観光客に対して接客するという意識が低い。そういう方に対して、観光を通して地域おこしをするという意識付けをしていくことが目標。墨田区には、一般社団法人墨田区観光協会があり、東京都内で初めてDMOの登録をしている(平成30年3月)。今後、観光協会や墨田区独自では実施できなかった観光推進をしていく予定。



▲千葉市

文教民生委員会視察報告

日程 5月21日～5月23日

場所・事項

東京都台東区 ●認定こども園について

「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の施行」に伴い、認定こども園として整備。台東区立石浜幼稚園と台東区立橋場保育園が隣接しており、既存の施設を利用して認定こども園として運営を行っている。保育士、幼稚園教諭が共に「子どもたちのために」研修を行い、「質・指導力の向上」を目指し、保育教諭として教育、保育活動に取り組める環境が整っている。



▲台東区 石浜橋場こども園

東京都府中市 ●学校給食センターについて

全市立小・中学校に対し、1日当たり22,000食を提供できる施設でドライシステム方式を導入し、食材の一方通行化などによる衛生管理の徹底を行い、炊飯施設の設置、スチームコンベクションオープンなどの新しい調理機器の導入、アレルギー対応専用調理室を設けるなどのアレルギー対応の充実を図っている。調理実習室などの設置による食育の推進や施設見学は衛生面に配慮し、上層階より調理室を工程順に一望できるように設計されており、調理過程を子どもたちが学ぶことができるようになっている。

東京都稲城市 ●介護支援ボランティア制度について

高齢化が進み地域のコミュニティの力を高める必要が生じてきたことや、介護保険料の高騰などを踏まえ、社会参加活動への参加を望む高齢者が増えてきていることに着目し、制度を実施している。

①高齢者自身の介護予防につながる社会参加活動【自助】を支援

②元気な高齢者による介護者などへの支援ボランティア【共助・互助】を褒賞・奨励

結果、地域支援事業費、介護給付費などの費用が直接・間接的に抑制されている。

神奈川県横須賀市 ●エンディングプラン・サポート事業について

ひとり暮らしで身寄りがなく、生活にゆとりがない高齢などの市民の方の葬儀・納骨などに関する心配事を、早めに解決し、生き生きとした人生を送っていただく事業で、横須賀市とこの事業に協力する葬儀社などが連携し、心配事の解決を支援する。

広聴広報委員会視察報告

日程 5月8日～5月9日

場所・事項

福岡県古賀市 ●議会だよりについて

読んでくださる市民の皆さまに分かりやすく伝えるにはどうすればよいか。議会だよりを手にとって頂くにはどうすればよいか。編集委員会で何度もチェックをし、一カ月かけて編集作業を行い完成させる。紙面には定例会の傍聴者数や議会生中継・録画配信、議会報告会の詳細報告などが掲載されており、市民へいかに情報を分かりやすく伝えるかの思いが表れている。



▲山陽小野田市

山口県山陽小野田市 ●広聴広報の取組について

どの議会も議会報告会への市民参加が少ない状況が背景にある。山陽小野田市では、議会市民懇談会を開催し、市内で活動する団体および10人以上の市民グループから申し込みを受けて議会が出向き、テーマに沿って自由に意見や情報を交換している。市議会公式のフェイスブックページを開設し、本会議や委員会日程、市議会の取り組み情報の発信ツールとして活かしている。また、市議会モニター制度を制定し、本会議および委員会の傍聴や、報告会への参加を通じて意見を提出いただき、その結果を公表する取り組みを行っている。

議会運営委員会視察報告

日程 4月23日～4月24日

場所・事項

兵庫県西脇市

●議会改革と予算の委員会付託について

議会機能の強化を考える中で、政策サイクルを回し、審議を充実させ、政策提案能力をアップさせる議会改革を断行した。具体的には、3月予算、9月決算の議案をより精査する議会審査を強化。議会前での予算、決算、補正予算の説明を受けた後、委員会協議会を開き予定質問を持ち寄り、背景や問題点などを説明する委員間討議の場を設ける。その後3日間の委員会を開いて論点整理および論点抽出を行い、再度委員間討議を経て所管常任委員会へ調査付託する。委員間で賛否が分かれる場合は、2/3多数決で採用された審議結果を市長へ申し入れる。当局から提案された議案に対して議会審査が多角的に行われ、より予算内容が精査されている。通年議会に等しい議会機能強化と理解した。



▲西脇市

大阪府大東市

●通年議会について

本議会は、会期を約1年とし、その間は、議会の判断で必要に応じて会議を開ける制度。条例で定める定例会の回数を年1回とし、議会の会期を1年間とする。期待される効果は、議会の判断による本会議の随時開催が可能。また、随時委員会の所管事務調査が可能で委員会活動を充実できる。市長の専決処分がほとんど無くなる。開会期間が長くなり機動的、弾力的な議会運営が可能となる。意見書案や決議案などがタイムリーに議決が可能となる。問題点もあるようだが、さまざまな行政案件に速やかに対応できる議会運営が可能と理解した。

議案の審議結果 平成30年第2回(6月)定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第 55 号	専決処分の承認について(観音寺市税条例の一部を改正する条例)	承 認
議案第 56 号	専決処分の承認について(観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例)	〃
議案第 58 号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決
議案第 59 号	観音寺市税条例の一部改正について	〃
議案第 60 号	観音寺市環境基本条例の一部改正について	〃
議案第 61 号	公平委員会委員の選任について	同 意
議案第 62 号	指定管理者の指定について(観音寺市総合コミュニティセンター別館)	原案可決
議案第 63 号	観音寺市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結について	同 意
議案第 64 号	平成 30 年度観音寺市一般会計補正予算(第 1 号)	原案可決
議案第 65 号	観音寺市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	〃
議案第 66 号	平成 30 年度観音寺市一般会計補正予算(第 2 号)	〃

●賛否の分かれた議案

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議 案 名 等		議 員 名																				議 決 結 果
		合田隆胤	白川雅仁	藤田均	五味仲亮	篠原重寿	豊浦孝幸	篠原和代	友枝俊陽	石山秀和	大平直昭	立石隆男	伊丹準二	詫間茂	安藤康次	井上浩司	大久保隆敏	井下尊義	大矢一夫	大賀正三	秋山忠敏	
議案第 57 号	専決処分の承認について(観音寺市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

※自民…自民新公会 壮志…壮志会 公明…公明党 社民…社会民主党 共産…日本共産党



平成30年度 市民と議会のつどい

- 内容 **第1部 議会報告会**
第2部 市民フォーラム

*今年のテーマは「インバウンド」です。
詳しくは、後日ホームページでお知らせします。

- 講師 一般社団法人 日本インバウンド連合会
理事長 **中村好明氏**

- 日時・場所
2018年10月1日(月) 19:00～
ハイスタッフホール 小ホール
多くの皆さまのお越しをお待ちしております！

視察に来てくれました

- ◆千葉県山武市議会
「移住、定住の取り組みについて」

27日	19 ～ 20日	14 ・ 18日	12 ～ 13日	10 ～ 11日	3日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

9月定例会の予定

編集後記

6月定例会を迎えるに当たり、各常任委員会は各研究課題を掲げ、行政視察を5月中に実施いたしました。先進自治体のさまざまな取り組みを参考に本市に合った施策にと、質問や提案として積極的な議論が交わされました。

中でも近年頻発する大地震。本市もここ数年、防災力強化を掲げ、防災行政無線整備や防災ラジオの各戸配布に力を注ぎ、防災情報の迅速な伝達に努めております。総体的取り組みが求められる人口減少対策、にぎわいの創出を議会から発信してまいります。



友枝 俊陽
五味 伸亮
篠原 和代
豊浦 孝幸
合田 隆胤

委員長 井下 尊義
副委員長 石山 秀和

広聴広報委員会